

市民の皆さんの大切な声を

新しいまちづくりに生かします

第6次長期総合計画は、市民の皆さんの幅広い意見を計画に反映させるなど、市民と行政との協働によって計画策定を行います。

まちづくりの主役は塩竈市で生活する皆さんです。今回は、皆さんからの意見を伺う取り組みを紹介します。

若い世代の意見

塩釜高校生徒との まちづくり意見交換会

11月8日(金)、塩釜高等学校西キャンパスで、同校の生徒18人と市長との意見交換会を開催しました。

塩釜高校の生徒の意見

● 公共施設など、部活動にふさわしい練習の場を使えると、部員の士気が高まる



▲生徒の皆さんの熱意が感じられる意見が出されました

● お祭りや市のイベントで部活動の発表ができるようにしてほしい。一緒に盛り上げたい

● 地域での奉仕活動に取り組んでおり、活動の場を広げていきたい

将来の夢を持ちやすくなる情報提供や、みんなで学び合える場所の確保などについての意見もいただきました。

各界・各分野 代表者の意見

長期総合計画審議会を 組織しました

有識者や産業・保健福祉・教育のほか、市内の各界・各分野の代表など25人の委員で構成される長期総合計画審議会を組織しました。11月21日(木)には、第1回審議会を開催しました。

委員の中には「次世代枠」として、日ごろからまちづくりに取り組む市内の団体や、新成人なども参加しています。

市民の皆さんの意見

ワークショップなどを開催し、 市民参加を促進します

市民参加の機会として、次のような取り組みを行います。

地区別懇談会

市内5地区(東・西・南・北・浦戸)で、地区別懇談会を開催します。各地区にお住まいの皆さんに参加いただき、地区独自の取り組みや地区の抱える課題などをお聞きします。

市民まちづくりワークショップ

毎回テーマを設定し、グループワークなどを行って、まちづくりについて

の意見交換を行います。

参加者は、公募や市内各種団体からの推薦などによる選出を予定しています。参加者の公募は、広報しおがまやホームページなどお知らせします。そのほかにも、今年度は市民や企業対象のアンケートを実施し、皆さんの意見を伺っています。今後、分野別に専門家の意見をいただくような取り組みも検討しています。

長期総合計画と市民協働

近年、多様化・複雑化する地域課題に、行政が中心となった取り組みだけで対応するには限界があります。これからのまちづくりでは、市民、町内会、企業、団体などの多様な担い手が、行政と互いの立場を理解・尊重し合い、役割を分担しながら、それぞれの力を生かして連携する市民協働が必要になっていきます。

地域の特性を生かしたまちづくりでは、多様な主体の協働による地域の計画づくりが、地域課題を解決していくうえでの大きな原動力になります。長期総合計画の策定段階から皆さんに参加いただくことで、協働による策定を行ってまいります。

問 政策課企画係 ☎3555-15631